

平成16年(2004年)4月9日  
担当 道路維持課 原悟志 荒井陽二 水口森隆  
電話 026-235-7303(直通)  
FAX 026-235-7369  
電子メール douroiji@pref.nagano.jp

## 「信州型木製ガードレール」が衝突試験に合格しました。

平成15年度の「長野モデル」事業として、県産間伐材を利用することにより、地球温暖化防止や循環型社会の構築に寄与する木製ガードレールを、県内の意欲ある民間企業と共同して開発を進めてきました。

この度、次の3社が衝突試験に合格しましたので、お知らせします。

信州型木製ガードレール・・・別紙参照 (製品名は仮称です。)  
ログガード協会 (ログガード LG-C-4E型)  
サク塗装株式会社 (ST型)  
木曾・大栄・和光信州型木製ガードレール研究グループ (ウッドGr P型)

### 木製ガードレールの現状

- ・平成11年度より「防護柵設置基準」が性能規定に改訂されたことによって、従来の鋼製のほかに木製が可能となりました。
- ・これまでに宮崎県の業者が開発しており、別の1者も開発に成功しています。
- ・地方自治体としては、全国で初めての開発となります。

### 開発の経緯

- ・開発企業の決定 応募があった11社より、5社を選定しました。(H15年6~7月)
- ・開発の実施 技術審査委員より助言を頂きながら、材料試験(林業総合センター実施)やシミュレーション(工業試験場実施)などを行いながら企業ごとに開発を進めました。(H15年7月~H16年2月)
- ・衝突試験 (財)土木研究センターに委託し、国土技術政策総合研究所(茨城県つくば市)衝突実験場において、衝突試験を実施しました。  
〔大型車(25t)及び乗用車(1t)により、次の4つの性能を確認しました。〕  
車両逸脱防止 乗員安全 車両誘導 飛散防止

### 今後の見通し

- ・信州型木製ガードレールの認定  
ログガードについては4月中に、残りの2社については5月頃までに「信州型木製ガードレール」の認定を行っていく予定です。
- ・利活用の見通し  
平成16年度以降、県が管理又は設置する道路に積極的に活用していくとともに、積極的に国や他県へもPRしていきます。
- <平成16年度事業予定>  
「信州型木製ガードレール」活用事業 C=1億円  
“美しいまち・ふるさとの道”再生モデル事業 C=3,360万円(歩道段差解消、フラワースペース整備、路線番号案内標識整備などと併せて実施。)
- ・全県的な取り組み  
経営戦略局、環境部局、公共事業関係部局などから成る推進組織をつくり、「信州の木」を積極的に使用していきます。  
また、国や市町村へも積極的な活用を働きかけていくとともに、全国に向けて情報発信し、「信州型木製ガードレール」の活用をPRします。

# 衝突試験に合格した「信州型木製ガードレール」

(製品名は仮称)



## ログガード LG - C - 4 E 型 (ログガード協会)

ビーム:  
スギ半割材(18cm、鋼板付) 2段  
車両誘導用鋼管(6cm) 1段

支柱:  
鋼管 4m間隔



## S T 型 (サク塗装株式会社)

ビーム:  
カラマツ角材(15cm角、補強丸鋼入) 2段

支柱:  
鋼管(カラマツ角材覆い) 2m間隔



## ウッドGr P型 (木曾・大栄・和光信州型木製 ガードレール研究グループ)

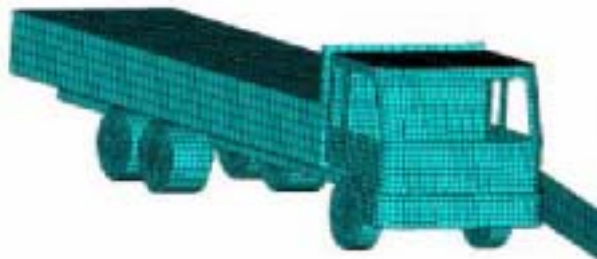
ビーム:  
カラマツ丸太(18cm) 2段

支柱:  
鉄筋コンクリート製 2m間隔

# 「信州型木製ガードレール」の開発と衝突試験状況



材料試験  
( 林業総合センター実施 )  
ビームの曲げ強度試験状況



シミュレーション  
( 工業試験場実施 )  
大型車のコンピュータモデル  
による衝突の再現



衝突試験 ( 茨城県つくば市 )